南信州広域連合第３回広域連合会議　結果報告

日時：令和５年６月 14 日(水)　15：00～16：00
場所：県飯田合同庁舎 301 号会議室(講堂)

【出席者】14 市町村長、副管理者
〔国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所〕大口所長
〔長野県建設部リニア整備推進局〕斎藤局長
〔南信州地域振興局〕丹羽局長
〔飯田建設事務所〕唐澤所長
〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長
〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長
〔飯田広域消防〕北澤消防長
〔環境センター〕飯田事務長
〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長
壬生広域振興係長・伊藤庶務係長・久保田庶務係主査・宮﨑庶務係主事

１　開会…15：00

２　広域連合長あいさつ

６月２日から６月３日未明にかけての大雨については、各市町村で大雨に対しての災害対応があったと思う。飯田市内でも 100 箇所を超える崖崩れや土砂崩れがあった。人的被害はなかったが、それでも緊張をした瞬間であった。本日開催予定の県議との意見交換会でも、急遽災害対応の項目を入れて、災害状況の共有を図りたい。災害に対する備えは重要であるため、しっかり情報共有したい。

５月 31 日に全国のリニア期成同盟会総会があり、飯伊地区代表として出席した。一様に静岡工区のことについて重要課題として解決していかなければならないという認識が共有された。

三遠南信自動車道の工事の進捗状況について、青崩峠トンネルが貫通したという嬉しいニュースがあった。開通効果を生かせるように準備をしていきたい。

３　協議・報告事項

(1) リニア中央新幹線建設工事の安全管理及び関係地域等への確実な情報提供の徹底について

【長野県建設部リニア整備推進局　斎藤局長】

中央アルプストンネル松川工区で４月 20 日に労務災害が発生した関係で、長野県及び関係市町村への連絡が遅れたもの。令和３年 11 月以降連絡体制を整備してきている中で、今回、長期で現場作業が中断しているにも関わらず、関係自治体、市町村への報告が遅れた事例が発生している。このことについて長野県としても、大変遺憾であると考えており、地域との信頼関係を損ないかねない大きな問題であると認識している。JR 東海に対し、安全管理と市町村等への速やかな連絡・報告が、地域との信頼関係に不可欠であることを改めて再認識していただき、徹底するよう文書で要請した。

また、今後も信頼関係を構築し、維持していくために、地域住民へ労働災害や交通事故等の発生状況やそれに対応する安全対策を講じていることをセットで情報提供することも徹底するようお願いした。

(質疑なし)

(2) 三遠南信自動車道工事進捗状況について　【飯田国道事務所　大口所長】　～資料No. １～

ア ６月２日豪雨対応について

南信州地域で甚大な被害を受けていると聞いている。速やかな復興・復旧に関して直轄国道事務所として支援できることがあれば、すぐに対応していきたい。豪雨によって直轄国道自体に被害はなかったが、三遠南信自動車道の浜松市寺野地区の国土交通省が設置している雨量計で、500㎜の雨量を観測した。しかし、被害は一切出ず、通行に支障は出なかった。交通を遮断させることなく、地域の交通及び物流を生かすことが重要であり、国土強靭化を進める上でも三遠南信自動車道の早期整備が必要であると改めて感じた。

イ 三遠南信自動車道工事進捗状況について

三遠南信自動車道について、全体で100㎞を計画している内、浜松側の東栄ICから鳳来峡IC間について、令和７年度に開通することが昨年度公表された。これにより佐久間川合ICと新東名が繋がることとなり、国道151号線とのアクセスが良くなる。当事務所としては、飯喬道路及び青崩峠道路の整備を進めている。５月26日に青崩道路本坑4,998mが無事貫通することができた。事業化から40年目で一つの節目を迎えることができた。今後はトンネルの設備について進めていく。全長５㎞のトンネルであるため、照明設備及び換気設備もかなりの量が必要になる。昨今の半導体不足の影響も予見されているため、少しでも早く整備ができるよう前倒しの発注等を行い、進めていきたい。

トンネルが貫通した瞬間を事務所の公式アカウントを通じてツイッターで発信したところ、多くの反応があり、閲覧数が600万回となった。引き続き道路の整備状況等について発信していきながら、開通後の効果を発現していきたい。

トンネルは全部で11本ある中の昨年度11号トンネルが完成した。６号トンネルについては、今年度中に本坑の掘削を開始予定。２号トンネルについては今年度に契約手続きを行う予定。

ウ その他

・飯田南バイパスについて

飯田南バイパスが今年度事業化することができた。今年度は測量及び地質調査等の設計にかかわる調査を進めていく。地域の方々にも丁寧に説明していきながら進めていきたい。

・橋梁の劣化について

雪寒地域であることから塩を多く撒いて雪を溶かしているが、それにより橋梁の痛みが深刻化している。今年から予防保全としてナノバブル水を使用して橋を洗う取り組みを試行的に行うことを計画している。

(主な意見等)

阿智村：　青崩トンネルの貫通石等の配布は考えているか。

大口所長：　配布を計画している。

大鹿村：　中央構造線沿いにある岩石帯で、鹿塩マイロナイトという岩石がある。骨材として優秀であり、コンクリートの強度を上げる効果がある。それが今後不足する可能性があり、工事自体が止まってしまう可能性もある。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について　【飯田保健福祉事務所】

５月８日以降、患者数は横ばいの状況であり、ベッドの使用数も14床程度で横ばいの状況。患者の年齢層は高齢者に偏っており、40歳以下の方は少ない。

南信州圏域は80歳未満の死亡が長野県と比較して少ない。診断が早く、薬を早期からの服用することを徹底していることが大きな要因である。

(質疑なし)

(4) 看護師等確保対策修学資金について　【市瀬喬木村長】

過日、看護師等確保対策修学資金の貸与者の決定について選考会を実施した。16 名の方から応募いただき、この地域の医療を救いたいという熱い思いを確認した。選考の結果、僅差で甲乙つけがたいため、募集人員は10名であったが、11名を採用とし、１名を次点と決定し通知をしたことを報告する。

（質疑なし）

(5) （社福）ひだまりの郷あなん令和４年度事業報告について　【事務局長】～資料№.２～

ア 経過

阿南学園については令和３年12月から阿南町の設置ということで、新規スタートしている。広域連合としては引き続き（社福）ひだまりの郷あなんに対して出資団体として関わっていることから、本日事業報告をする。

イ 事業報告

阿南学園としての職員が36名を含む、法人としての職員数は52名。

施設の入所定員は60名で、現在59名の入所状況。入所者の平均年齢が高くなってきていることが近年の特徴として挙げられる。

新型コロナウイルスへの感染状況は、施設内での感染はあったものの、クラスターの発生には至らず、比較的小規模で抑えられていた。

サービス活動の収益が増えているものの、それ以上に経費が増加している。サービス活動増減差額が△2,654,263円となり、昨年度の決算については厳しい状況であった。

理事として２名、監事として１名が新たに選任された。

（質疑なし）

(6) 飯田広域消防本部から　【北澤消防長】～資料№.３～

ア 熱中症疑いの救急搬送の状況について

調査開始から６月９日までで10名を熱中症疑いで搬送しており、昨年同日比１名増。本日までの搬送人員は更に２名増えて、12名となっている。この内７割が65歳以上の高齢者であり、例年と同様の傾向となっている。高齢者を中心とした予防広報を継続する。

イ 令和５年、令和４年市町村別火災発生状況（６月９日８時00分現在）

令和５年火災総件数42件（昨年同日比△１）

市町村との連携ほか、保育園及び小学校等での防災教育の機会を利用した火災予防の取り組み及び火災の早期発見・早期避難のための高齢者住宅への住宅用火災警報器設置促進に取り組む。

（質疑なし）

(7) その他　【事務局次長】

ア 信州木曽看護専門学校入試の広域連合推薦枠について　～資料№.４～

※資料配布のみ

イ 飯伊建築業協会からの車いすの寄贈について　～資料№.５～

※資料配布のみ

4　長野県から

異常洪水時等における市町村長との連絡体制（ホットライン）について【飯田建設事務所】

ア 情報を伝達する事項は河川の異常出水に関する事項及び土砂災害に関する事項。

〔河川の異常出水に関する事項〕

・水位周知河川（松川、遠山川、阿智川）が氾濫危険水位に達すると予想される場合。

・危機管理型水位計設置河川（34 箇所）で危険水位に達しさらに水位上昇が大きいと予想される場合。

・松川ダム及び片桐ダムにおいて、緊急放流を行う４時間前及び緊急放流直前に下流で予想される水位を伝達する。

〔土砂災害に関する事項〕

・土砂災害警戒情報が発表された際に情報が発表されたことや災害の切迫性の説明を伝達する。

イ 連絡方法

・平日の勤務中は市町村の防災担当者へ連絡する。

・土日夜間等については、首長又は各市町村の防災担当課長へ建設事務所若しくは建設部の担当課長から連絡する体制となっている。気象の状況によっては非常時に首長へ直接電話することも有り得る。

（質疑なし）

5 閉会　16 時 00 分